



令和2年12月1日発行

寒さも少しずつ厳しくなり、本格的な冬の訪れを感じる頃となりました。

先月は保育者や友だちと手を繋いで歩く機会を多く取り入れていきました。保育者が「お散歩に行こうよー！」と声を掛けると、靴下入れから自分の靴下を取り、お散歩の支度を始めます。靴下や靴を履いたり、カラー帽子を被ることも子どもたち自身が自分でやっています。あっという間にできる子、思うようにできず苦戦する子など、姿は様々ですが一人ひとり自分のペースで取り組み、身の回りのことに意欲的な姿も増えています。歩くことも上手になり、保育者や友だちと手を繋いで歩く距離も伸びてきました。言葉のやりとりも増えてきたため、散歩中もとてもにぎやかになり、「でんしゃ」「ひこうき」「わんわん」など歩きながら色々な物を見つけ、友だちや保育者に一生懸命教えている子どもたちです。

今月も寒さに負けず、言葉のやりとりを楽しみながら散歩を多く取り入れていきたいと思います。



★今月のねらい★

- ・連絡帳、コップを自分で出して、所定の場所に置く。
- ・暖かい日は戸外に出て体を動かす。

★今月の活動★

- ・散歩(線路沿い、徳石通り南広場、北町上宿公園、電車の見える公園など) ・指先遊び
- ・巧技台遊び ・製作(クレヨン、シール貼りなど) ・クリスマス会 ・分園交流 など



着替えが上手になってきました！！

最近では、着替えに意欲的な子どもたち。ズボン子どもたちの前に履きやすいように置き、「履いてね」と声を掛けたり、足を通す場所を知らせると「こう？」と確認しながら履こうとしたり、ズボンを最後まで上にあげようとし、「できたよ」と誇らしげに教えてくれています。ズボンをあげきれなかった時には保育者に手伝ってもらいながら着替えを進めています。

子どもたち自身で着替えを行うようになってきているので、自分で着脱しやすいゆったりとしたズボンや洋服の持参をお願いします。